

●R6年度の協働推進活動で重点的に取り組む課題に応じた目標等

実施自治体名	課題の類型1	課題の類型2	背景・現状・課題の詳細	これまでの取組状況	左記課題の解決のために令和6年度に実施する具体的な取組	本事業で達成する目標(アウトカム)	目標の達成度を測る指標	現状の数値	単位	本年度の目標値	本年度の実績値	アウトカムの達成度に関する評価・分析(事業における成果、課題、改善点等)	
293423_平群町	②学校と地域の課題	学校支援ボランティアの確保・育成	ボランティア活動をしていただいている方々が高齢化し、ボランティアのなり手が減少してきている。このまま減少が続けば、維持できないボランティア活動が起る可能性がある。	引き続き、ボランティア活動募集について町広報誌やHP、また学校で必要としているボランティアを回覧板で募集するなどし、周知・依頼に努めている。	町内4小中学校(小3、中1)における地域ボランティアの確保(前年度数を最低限維持する)のために、引き続き周知依頼に努める。	ボランティア登録数200名以上を維持することで活動を継続できるようにする。	R5年度ボランティア登録数を「100%」とした際の、R6年度の割合	100	%	100	100	3	自治会の回覧や、学校だより等で、ボランティアの皆さんの活動内容を知らせることによって、多くの方に関心をもっていただくことができ、新たに参加していただけた方も増えた。ボランティアの方からは、「活動することによって自己有用感や充実感を感じることができ、これからも続けていきたい」という感想をいただいている。しかし、ボランティアの方々が年々高齢化されるため、活動を継続できるかどうかが今後の課題である。
293423_平群町	③学校と家庭の課題	家庭等における学習習慣の定着	R5学力学習状況調査における、「家庭における計画的な学習の取組状況」において、本町の結果(71P)が全国平均(71P)と同じ数値になった。これまでは、全国平均より低下傾向が続いていたことから、今後さらに向上出来るよう学校・家庭の連携取組の強化に努める。	家庭学習の定着を図るために、各学校におけるICTタブレットを活用した家庭学習の取組改革を計画的に推進した。	R6年度の取組結果を全国結果より4ポイント以上の向上を目指す。そのために、学生ボランティアなどに教室への入り込みによる支援をもらい、子どもたちの基礎基本の定着や学習理解、学ぶ意欲の向上に努める。ひいては、家庭学習の習慣にもつながり、その向上を目指す。	R6年度本町の「家庭における計画的な学習の取組状況」結果を4ポイント(75P)以上を目指す。	R6学力学習状況調査における、「家庭における計画的な学習の取組状況」本町の結果	71	%	75%以上	-	3	R6年度の学力学習状況調査においては、「家庭における計画的な学習の取組」の質問項目がなかったため、その結果の数値を昨年度と比較することはできなかった。しかし、今年度の学力学習状況調査の「学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか」という質問について「1時間以上」と回答した生徒が76%であったことから、これまでの取組の成果として、家庭での学習習慣が定着してきていると思われる。